

行政視察報告書

令和6年 11月 6日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 加納 義之



私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

- 1. 視察等名 令和6年度健康福祉常任委員会行政視察研修
- 2. 視察期間 令和6年10月21日（月）～22日（火）
- 3. 視察場所及び目的
 - ①埼玉県入間市
「児童発達支援センターについて」
 - ②愛知県知多市
「認知症について」

4. 調査内容感想等
・ 視察の目的
・ 埼玉県入間市の児童発達支援センターの事業内容及び運営方法等を入間市役所こども支援部・児童発達支援センターの方々と意見交換する。
・ 視察の内容
・ 入間市の「児童発達支援センター」は、入間市健康福祉センター内にあり、相談支援事業・児童発達支援事業・地域支援事業からなり、内相談支援事業の中の専門相談は、令和2年度から外部委託。また児童発達支援事業も外部委託されている。相談支援事業では、①相談支援：発達に不安や課題のある18歳未満の児童・家族の相談を保健師・保育士・指導主事があたっている。②専門相談：発達に不安や課

題のある18歳未満の児童・家族・支援機関の相談を委託業者により心理士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、児童精神科医が所定の日に対応をされている。

また③障害児相談支援、計画相談支援：児童発達支援等の障害福祉サービス利用者対象で、予約制で相談支援専門員が対応にあたっている。

児童発達支援事業では、児童発達支援「元気キッズ」・・・対象は心身の発達に遅れや障がいのある未就学児が対象。保育所等訪問支援・・・集団生活への適応に課題のある18歳未満の児童・施設職員・保護者が対象。日中一時支援・・・心身の発達に遅れや障がいのある18歳未満の児童が対象。

地域支援事業は、家族支援・地域支援・普及啓発からなり、休日相談会、休日施設開放や進学時の相談も教育センターと共催で親支援講座を開く。また就学を考える会では、年中保護者対象 進級、支援級、支援学校に関する説明や先輩保護者の話を聞く。市内の保育所、幼稚園、学童保育室への助言などの施設支援。中高校生向けのソーシャルスキルトレーニング（SST講座）、中1、小4向け、クラスへのソーシャルスキルトレーニング（SST）出前授業や講演会、ブルーライトアップ等を実施。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

・入間市では、9か所の児童発達支援施設があり相談件数は年々増えているとの事。今後いろんな方法により対応の事業所を増やしていく必要があるように思う。

・視察の目的

・愛知県知多市においての認知症高齢者及び家族支援サービス事業、認知症初期集中支援推進事業、認知症地域支援・ケア向上事業、認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業、介護予防・日常生活支援総合事業、一般介護予防事業、知多市認知症施策推進条例について研修する。

・視察の内容

・認知症高齢者及び家族支援サービス事業では、現在 262 人が登録されている。登録された方のうち希望する方は、認知症高齢者あんしん見守りシールや認知症高齢者あんしん見守り賠償保険のサービスを受けることができる。この事業内容は、長浜市でも実施されている。認知症初期集中支援推進事業では、普及活動として知多市オレンジチームが結成されている。認知症地域支援・ケア向上事業では、認知症地域支援推進員を配置している。認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業では、認知症サポーターである地域住民がチームオレンジを組み専門職と連携し早期から見守り等の生活面の支援を行っている。知多市認知症施策推進条例では、市の責務並びに市民、関係機関及び事業者の役割を明確にすることにより認知症に関する施策を総合的に推進し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちを実現することを目的されている。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

・長浜市市議会健康福祉常任委員会で、現在認知症に関する条例を検討しているが、誰のための条例なのか。認知症の人と何ができるのか、どんな社会が作れるのかを考えながら、関係する団体等との意見交換をして検討を重ねていかなければならないと思う。

・知多市に限らず他市とも比較しても、本市はやるべきことはやっている感があるが、それだけに満足せず今後更に増えてくる認知症高齢者等に配慮した充実した施策を行うべきである。